「住民が、医療や介護を受けながらも、人生の最後まで住み慣れた地域で、自らが 選択し自分が望むより良い暮らしが継続できる」を目指して

~在宅で安心して暮すために私たちができること~

職種:理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

職種が目指していること:その人らしく健康を維持していくために、個人にあった心身の問題に対しアドバイスができ、活き活きとした生活を見つけるための支援をします。その人の考えや希望が配慮される暮らしができるよう、「支える医療」を提供していきます。

		サービス名	対象者	内容	費用等
職		急性期から回	身体的疾	○急性期 (手術・発症直後) から、	医療保険制
職種としてできること	医療	復期、生活期	患を有す	病態の理解、リスク管理をしなが	度内
して	保険	まで。	る方	ら介入し、その後の順調な回復の	※疾患別リ
てでも		(病院中心)	• 中枢神	サポートをします。	ハビリテー
さる			経疾患	回復期では、心身の状態を正し	ション料:心
こと			• 運動器	く評価し、状況を見極め、様々	大血管疾患
			疾患	な選択肢の中から計画・実行	リハビリテ
			• 呼吸器	し、機能回復に関わります。	ーション料、
			疾患	生活期では、安定した心身状況の	脳血管疾患
			・心疾患	中、残された機能を的確に評価	等リハビリ
			• 内科的	し、代償のできる方法の検討も含	テーション
			疾患	め、社会復帰、社会参加のサポー	料、廃用症候
			等	トを行います。	群リハビリ
				○理学療法、作業療法、言語聴覚	テーション
				療法は医療行為に位置づけられ	料、運動器リ
				ており、医師の指示に基づいて行	ハビリテー
				われます。	ション料、呼
				○カンファレンス等を通し情報	吸器リハビ
				提供・情報共有を行い、多職種と	リテーショ
				連携していきます。	ン料、摂食機
					能療法 (算定
					可能日数、点
					数は違いあ

				り)
	○通所リハビ	要介護認	○通所リハでは、安全な在宅生活	介護保険制
介護	リテーション	定者	に繋がるよう、獲得したい、獲得	度内
保険	○訪問リハビ		すべき動作やコミュニケーショ	
	リテーション		ン方法、摂食嚥下の問題に対し、	
	○福祉用具選		実用的な練習を実施します。定量	
	定、住宅改修		的評価をもとに方法や手段の見	
	等の検討		直し、検討を行います。	
			○訪問リハビリでは、より具体的	
			な場面で動作の獲得を目指す。	
			○福祉用具、住宅改修等の検討で	
			は、残存している心身機能を的確	
			に評価し、利用者の生活状況など	
			も踏まえて、適正な選定について	
			検討、助言します。	
			○介護保険関連施設(老人保健施	
			設、老人ホーム等)では、施設内	
			での機能低下予防、ADL 低下予	
			防のために、環境調整も含め支援	
			していきます。	
	○健康増進	○地域住	○怪我や病気の予防として、体の	
その	○介護予防	民全般	使い方や運動の方法、コミュニケ	
他			ーションの取り方や認知機能面	
			への働きかけ等について、助言し	
			ます。	
			○地域の介護予防 (教室) やコミ	
			ュニティ形成にも関わります。リ	
			スク管理 (転倒や疾病の管理)、	
			運営全体のサポートも行います。	
			○地域ケア会議推進リーダー、介	
			護予防推進リーダー等、独自のリ	
			ーダー制度を設け、より専門的知	
			識をもったリハビリ専門職が関	
			わります。	

職種紹介シート

	理学療法士は「運動」「動作」を通して、作業療法士は「作業」「活動」を通				
専門職と	して、また言語聴覚士は「話す」「聞く」「食べる」ことに通して、個別的な				
して伝え	「評価」が医学的・社会的視点から行うことができます。 \mathbf{E} ($\mathbf{Evaluation}$)評				
たい事	価)、P (PLAN 計画)、D (DO 実行)、C (CHECK 再評価)、A (ACTION				
	改善) サイクルを繰り返し、個別性を持った関わりを通して、ADLの改善、				
	QOL の向上を目指します。				
	特に最近では、受傷後・発症後からの関りでだけでなく、予防分野(健康増				
	進、介護予防) でも活躍の場が広がっています。				
	○介護予防や健康増進の分野での関りは、リハビリ専門職の役割として非				
専門職と	常に重要でありますが、多くのリハビリ専門職が病院や事業所・施設等に所				
して困っ	属しており、所属先の業務とは別に動いているケースが多くあります。この				
ているこ	分野での働きが制度化、点数化されていないため、業務の一つとして動きに				
と、問題点	くい要因となっています。				
	○介護予防、健康増進の分野での働きは、単発の事業となることがまだまた				
	多く、長期的に地域の中に働きかける事の大変さを感じます。				
	香川県理学療法士会 HP: https://www.kagawa-pt.com/				
	香川県作業療法士会 HP: https://kagawa-ot.or.jp/				
その他	香川県言語聴覚士会 HP: https://kagawast.com/				